2.自治会実施報告：平成25年度3月班長会報告

投稿者：**totoro2** 投稿日時： 2014/03/16 (197 ヒット)

平成26年3月9日に開催されました平成25年度3月班長会の報告を「保存版資料」「班長会報告」にアップしました。

0コメント

2.自治会実施報告：第１２回集団資源回収の報告

投稿者：**totoro2** 投稿日時： 2014/03/12 (229 ヒット)

　３月７日（金）、平成２５年度の集団資源回収事業が終了しました。

　それは、平成２４年５月２５日（金）所沢市の「集団資源回収事業団体の説明会」に参加してから、松が丘自治会の資源回収事業は始まりました。南小学校ＰＴＡとの話し合い、ブロック長を含めたプロジェクトチームによる打ち合わせ、回収業者の面談と選定、近隣自治会の回収事業の聞き取り、など１年間をかけて準備してきました。

　平成２５年４月、第１回目の集団資源回収のときは、朝が明けるのをまだかまだかと布団の中で待っていたのを思い出します。朝早くから、ぽつりぽつりと玄関前に新聞紙や段ボールが出され、皆さまも「大丈夫なのかなー」と不安げに資源物を出されているようでした。

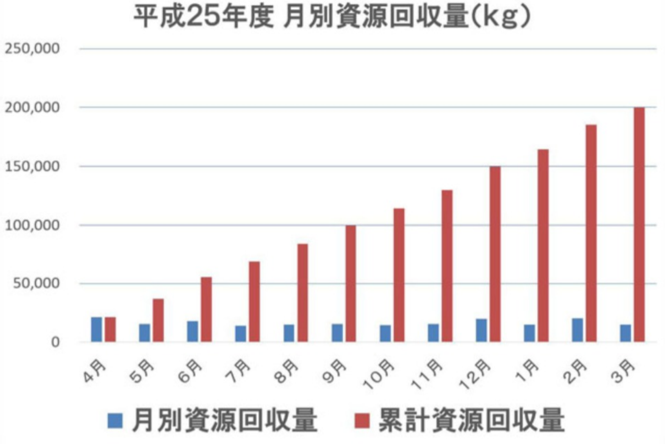
　午前８時３０分、回収業者のトラックがぞくぞくと中央会館にならび、私たち自治会の集団資源回収は開始されました。

　皆さまのご協力のお蔭で１年間無事に集団資源回収ができたことをご報告いたします。本当にたくさんのご協力に感謝いたします。

　第１回目の回収の時は夜の８時まで中央会館の駐車場で積み込みの作業をしていました。しかし、だんだんと回収作業の終了もはやくなり、今月の３月は午後の１時３０分には終えることができています。

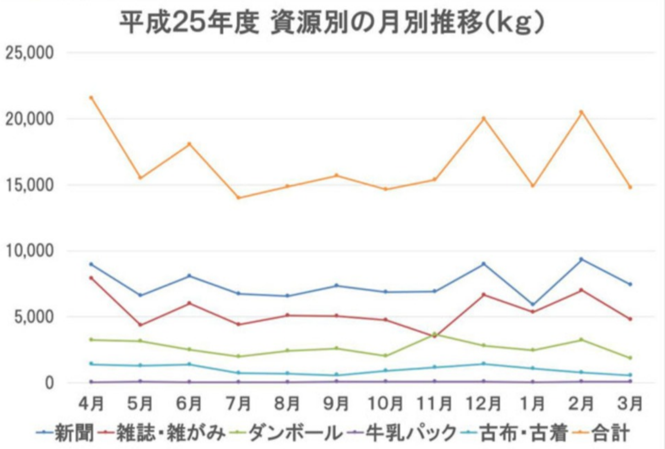
平成２５年度の回収量は１９９.８７トン
（市からの報奨金は９９９,３５０円）
混ぜてしまえば燃やすごみになる紙や布を
資源として選別して資源回収に出していただけた結果

集団資源回収
１ 月別資源回収量



集団資源回収

2 資源別回収量



月によって回収量は変わっていますが、雑がみの回収が２６年度の課題になるようです。

皆さまのご協力に心から感謝いたします。集団資源回収で得られた**収益の報奨金は皆さまに還元**いたします（自治会費の値下げを総会に提案いたします）。

環境美化担当　松本　白井

2.自治会実施報告：立川防災館での防災体験

投稿者：**totoro2** 投稿日時： 2014/02/23 (284 ヒット)

震度７は本当に怖かった！！

<オリエンテーション・ビデオを見る参加者>

２月２２日（土）、まだ雪が多く残る寒さのなか立川防災館での防災体験が２７名の参加によって実施されました。この防災体験では、地震体験、煙体験、消火訓練、３．１１東日本大震災の映像視聴の４つが、約２時間のなかで行われました。

地震体験では「揺れが始まったらすぐに机やテーブルの下など安全な場所に避難し、揺れが納まったら火元の確認・処理をする」との説明がありました。昔は、「揺れが始まったらまず火元の確認・処理をしてから安全なところに避難」と指導されたものですが、火元の確認・処理をしている間に落下物や倒壊家具等で怪我をする事例の多いことが分かり、最近ではこのような指導をしているとのことでした。

<地震体験>

<消火訓練>

皆さんはそれぞれの体験訓練を積極的に参加しました。４つの防災体験はやや忘れかけていた大震災の恐ろしさ、備えの必要性を思い出させてくれました。いつ大地震が起こってもおかしくないような状況にあります。防災への心構え、備え大丈夫でしょうか？

防災・消防担当　岸田勝美、桑原洋二郎

0コメント

2.自治会実施報告：第１１回集団資源回収の報告

投稿者：**totoro2** 投稿日時： 2014/02/08 (282 ヒット)

2月7日（金）は、2月の集団資源回収でした。12月の終わりからの回収でみなさんよく溜めていただきました。

今までで一番多いのではないかと思われるほどたくさんの回収がありました。

集計結果は、20.5トン（累計185.2トン）でした。

今回は、エコ・クルーの工場へ行き、回収されたものがどのように計量されていくのか、どのよ

うに仕分けされていくのかを立ち会いました。

㈱エコ・クルー
㈱エコ・クルー

＜松が丘からの資源物＞

＜計量台＞

トラックごと計量台に乗り　事務所にある電子計量表示に表示されます。そのまま伝票となって自治会に送られてきます。

＜大きな機械に入れられて梱包される＞

新聞紙や、段ボールなどの種類別に回収するときに分けて集めているのでそのまま大きな機械に入れられ梱包されます。

十字しばりにしているビニールテープは、4人の作業人により分けられます。そのテープもきちんと束ねられて梱包されていました。

＜梱包された資源物＞

専務さんの話によると「ここの会社は、ごみはでません。回収されたものは、全部再利用されます」と、言われていました。

エコ・クルーの会社訪問は業者選びの時に何回か訪問しました。何回訪問しても、工場がよく整備されて清掃が行き届いています。

＜工場はよく整備されて清掃が行き届いている＞

一日ずれたら大雪になるところでした。

みなさまと一緒に活動している集団資源回収は、3月で一年になります。毎回、自治会の集団資源回収にご協力いただき感謝しています。

3月もよろしくおねがいいたします。

環境美化担当　松本　白井

0コメント

2.自治会実施報告：所沢松が丘自治会３０周年記念座談会

投稿者：**totoro2** 投稿日時： 2014/01/29 (405 ヒット)

２０１４年1月２６日、自治会３０周年記念行事の一環として“１０年後の松が丘”をテーマに新春座談会が開催されました。

座談会メンバーは、ボランティア活動の中心となって自治会活動を支えて下さっている方々、子供たちのためPTA活動を担っていらっしゃる方々と加藤会長、岩本副会長、桑原副会長で、小林副会長と望月理事が司会と書記を務めました。

加藤会長による企画経緯の説明から座談会はスタートしました。今までの３０年間を先輩達に支えてもらった我々が、これからの松が丘を如何に支えていくのか。ざっくばらんに話し合おうとの確認がなされました。

資料に基づき、記念座談会では次のような点が熱心に話されました。
（下記の【要旨】と【資料】を参照下さい）

１．松が丘の課題
（１）良好な住環境の維持（松が丘憲章の堅持）
（２）高齢者対策（生活支援、生きがい支援、災害支援）
（３）若年世代の誘致（子育てに魅力的な環境つくり）

２．課題に対処していくにあたっての体制作り
（１）自治会、ボランティア団体の協働関係
（２）自治会業務の一部有償委託の検討
（３）ボランティア活動のあり方
（４）行政をどう組み合わせて行くか？

今回の座談会は、これからの松が丘、自治会を考えていく出発点であります。多くの課題を確認すると共に、解決に向けての方向が提起されました。自治会員全員が当事者であり、みんなで考

え、そして行動に移さねばなりません。

所沢松が丘自治会　会長　加藤 芳夫

【要旨】

１．松が丘地域の課題
（１）良好な住宅環境の維持
・松が丘憲章堅持
松が丘憲章をしっかりと引き継いで行く為に、「勉強会」をするべき
・自治会地域の再編
地区計画に入っていない所帯を含めての、自治会の再編が必要
転居する人が増えて来ている、又代替わりも増えている、会員の世代交代が増えている
清掃、落葉、積雪、夜間照明

（２）高齢者対策
・生活支援
買い物等は、高齢者のみならず子供が小さい家庭でも大変である
高齢者の生活支援はかなり重い負担である（毎週のゴミ出し、買い物手伝い等）
ボランティアで高齢者生活支援を行ったが、負担が大きくて中止した
１０年後というスパンで考えると、”多くの人が自動車の運転が出来ない”状況を想定する必要がある
・生きがい支援
カフェテラスは場所を提供し”来た人が自分で何かを見つける”という考えです
外から見るとボランティア団体の区別がつきづらい、整理出来ないか？
・災害支援

（３）若年世代の誘致
・子育てに魅力的な環境確保
仕事をしている母が多く、見回りボランティアは非常に有り難い
子供が自由にボール遊びが出来る場所がほしい
防犯の努力を強化してほしい

２．自治会、無償ボランティア、有償ボランティア、行政をどう絡み合わせて行くか？
（１）自治会とボランティア団体
腰を据えた仕事をやるには、持ち回りの理事ではなく、現在の６年任期制が良い
理事６年任期を終えて”後は知らない”では、継続性に問題あり
継続性を維持するにはボランティア団体が必要
自治会理事２０数名では全部やれない。自治会がボランティア活動を支えるという方向性がよい
理事業務の負担を少なくする為に、事務作業等を有償委託することの検討を開始している
自治会がボランティアを使っているという感じがする
自治会の活動をうまくボランティアにスライド出来ないか？
ブロック長、PTA役員を一年理事にしたらどうか
PTA役員は現行業務だけで手一杯で理事は出来ない

ボランティア団体間で”足の引っ張り合い”があった

サークル活動での”顔の繋がり”が大事である

中学生のボランティア参加は、後継者育成の観点から良い

餅つきでのPTAサポートを２日から１日に減らしてもらって助かった

（２）有償ボランティア

ボランティアの数を増やせるのであれば、有償もありかと思う

暇な人は年齢に関係なく少ない。出来ることに対価を払えばやってくれる人は増える

対価は個人に支払うのではなく、ボランティアグループに支払う方法が良い

松が丘でシルバー登録をしている人がかなりおられる、有償での依頼に対応する人は多いのでは？

有料でもいいから助けてもらいたい人は多いのでは？

有料の方が頼み易いということもある

防犯パトロール等のグループにも手当を出しては？

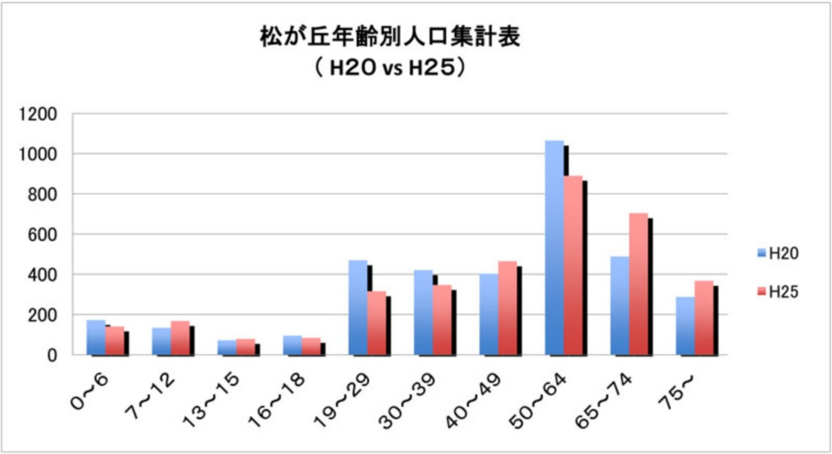
有償で活動をするのであれば、組織をしっかりしなければならない

外部団体に有償で業務委託をするのはいいが、自治会員のグループに有償委託するのは如何なものか？

会館の有効利用を図る為にも、会館管理人をおくのはどうか？

今回の座談会一回で終りではなく、継続的な話し合いが必要

【資料】



所沢松が丘自治会30周年記念座談会　班長アンケート　コメント概要　（回収率45%）

松が丘に暮らしてよかった事	松が丘に暮らしてよくなかった事

- 八国山の自然を目の前に、四季の移り変わりを楽しめる

- 道路・緑地・街並が整備されていて美しい
  - 各住居の敷地がゆったりしていて近隣が気にならない
  - 住居専用地域で大きな団地のため静かである
  - 住民の環境に対する意識の高さ、行動力がよい
  - 植木や花の手入れを各家庭でよくやっている
  - 家毎に道路の清掃を心がけている
  - 子供がボールで遊べる環境がある
  - 全域駐車禁止、バイク乗り入れ禁止

- 常識人、文化人、自立した人が多い
  - 近所との交流が程々でよい
  - 他人に干渉しない
  - 住民に余裕があり、子供から老人まで道で会うと挨拶がよく出来ている

- 自治会がしっかり運営されていて安心出来る
  - 楽しい行事があり、たくさんの人が参加している
  - 高齢者に対する自治会の取り組みがよい
  - 集会所を利用して色々なサークル活動がある

- 駅から遠くて不便
  - 高齢化により、買い物にバス、タクシーを利用せざるを得ない
  - 都心まで遠い、病院が遠い、小学校が遠い
  - 高齢の一人生活は無理
- 街路樹を伐採しても一年中落ち葉掃きをやらねばばらない
  - 遊歩道脇の住民は草刈り、落ち葉はきが大変、誰も手伝わない
  - 庭の草取りや手入れにコストがかかる
- 歩いていける近くに店が無い
  - 散歩の途中で立ち寄れるようなカフェ等がない
  - 改善されたが、夜明かりが不足
  - 雪の日は坂道が大変
- 建て替えにより松が丘憲章が守られていない事例がある
- 開通予定の道路の騒音、振動、排ガスがどの程度か心配

- 心の垣根が高く、近所との交流が少ない
  - 地域として、久米等近隣地区との交流が少ない
  - 近所同士の顔合わせがしにくい
  - 新しい街なので、住民間の結びつきが弱い
  - 老人が多くなった
  - 活気がなくなった
  - 高齢の人が多く、仲良く話せる人がいない
  - 子供関係がなくなると隣でもあまり顔を見ない事が多い
  - 若い世代を呼び込める工夫が必要
  - 自分が出している騒音に気づかない人が多い

- 高齢化により班長の負担が大きい
  - 自治会費が高い
  - 1000戸以上の居住者に対し、中央会館は狭すぎる
  - 行事が多く負担が多い

0コメント